

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	・東京オリンピックの開催年であることと5G導入により、景気は良くなっていく。
		コンビニ（エリア担当）	・春に向かう季節のトレンドに加え、客単価は今月も伸長しており、飲料など苦戦しているカテゴリーも回復傾向に向かっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・今の勢いには持続性がある。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・春までは引き続き年度末から新年度向けの受注増が見込まれる。
		百貨店（業績管理担当）	・消費税増税の反動の緩和で、2月以降は戻ると見込んでいる。
		スーパー（販売担当）	・これまでノーチェックだった競合先対策を始める。
		コンビニ（企画担当）	・気温の影響もあるかもしれないが、来客数は前年を超えている。春節の時期に新型コロナウイルスの発生で出入国に制限が掛かるのは若干マイナスになるが、マスクも高機能で少し高めのものにニーズがあり、恵方巻やバレンタインのチョコも少し良い物のニーズにシフトするのではないかと見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価を堅持することで、来客数の伸長により売上も好調に推移する。さらに、戦略カテゴリーである調理パンやベーカリーの新商品などを投入することで、春期に向かっているスタートダッシュを図る。
		乗用車販売店（営業担当）	・国のサポカー補助金が出るので、65歳以上の人の購買意欲が上がるのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・決算月である3月に向かって、需要意欲は少し高まりそうである。
		乗用車販売店（従業員）	・サポカー補助金の予算案により、3月から高齢者の車両購入に補助金が出る予定であり、一時的にはあるが、前年より販売台数は見込めると考える。
		乗用車販売店（営業担当）	・新商品の投入により来客数が増加傾向にある。長期にわたってくれることを期待したい。
		一般レストラン（従業員）	・行楽シーズンに入り、外出も増えると見込む。
		旅行代理店（経営者）	・東京オリンピックが近づいてくるので、少しは景気が良くなる。
		旅行代理店（経営者）	・4月から新学期や新年度の計画がスタートすることにより、休みの計画も立てやすくなる。ゴールデンウィークの駆け込みも予想されるので、景気は良くなる。
		通信会社（営業担当）	・今後も東京オリンピック開催まで、当面は増加傾向が続くと見込む。
		通信会社（営業担当）	・年度末需要に期待したい。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・災害復旧もほぼ完了し、線路整備等もローカル路線としては大きな予算が投入された結果、信頼できる交通として客には見直されつつある。
		美顔美容室（経営者）	・2月から新商品が出ることと新しいキャンペーンが始まるため、販売量が増加する。
		美容室（経営者）	・3～4月になると入学、結婚や行楽シーズンで忙しくなると見込まれる。
		美容室（経営者）	・今後新生活を迎える人が増えたり、異動等のイベントがあるため、客はそれなりに来店し、きれいにする人が増える。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・年度末に掛けて、特定福祉用具の需要の掘り起こし活動を実施していく。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・出足が遅かった分、2～3月には予定よりも客足が伸びる見込みである。実際、1月末頃から予定よりも客足が良くなっている。
		商店街（代表者）	・相変わらず客単価の伸びがみられない。必要な物以外は買わない傾向がずっと続いている。
		商店街（代表者）	・キャッシュレス決済のお陰で客にはアプローチしやすいが、販売量そのものの増加は余り期待ができない。
		商店街（代表者）	・例年2月は売上が最も悪くなる時期であり、今年も例年同様に見込まれる。
		商店街（代表者）	・変わる要素がない。
	商店街（代表者）	・周りでは給与と所得が全く増えていないと聞く。それどころか働き方改革によって所得が減ってしまっているという話も聞く。景気の上昇など全く考えられない。	

商店街（代表者）	・年度末に掛けて多少景気は改善するかもしれないが、今のところ動きはない。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・今のところ景気が上向き要素がない。東京オリンピックが始まるまで待たなければならないだろう。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・この状況はしばらく続くと見込む。景気は決して良くない。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
百貨店（企画担当）	・消費税増税から3か月経過したが、食料品は軽減税率の効果前年を上回って推移しており、今後も好調を期待している。反面、衣料品、雑貨、高額商品は、増税の影響に加えて暖冬により前年を下回っている。衣料雑貨メーカーが製造量を絞る傾向との声も聞こえてきており、春以降の商材確保への影響を懸念している。直近の不安としては、新型コロナウイルスなどの影響で、インバウンド客が大幅に減少することが考えられる。
百貨店（販売担当）	・ギフトシーズンに向けた新作の投入やイベントで集客は見込める。インバウンドについては、新型コロナウイルスの影響を受けると厳しくなる。
百貨店（計画担当）	・特に富裕層を中心に購買意欲が上向ききっかけがない。比較的好調に推移しているインバウンド需要も、外的要因が厳しいため増加が期待できない。
スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響も不安材料である。影響がなければよいと懸念している。
スーパー（店員）	・インフルエンザなどの流行の影響を受けて、外出を控え必要な分だけ買いそろえるといった様子が見受けられる。
スーパー（販売担当）	・今のところ良くなる材料が全然見当たらないため、景気は変わらない。
スーパー（ブロック長）	・今後も競合先のキャッシュレス還元対象店舗への対抗策として販促経費の増加が見込まれ、厳しい売上が続くと思込まれる。
スーパー（商品開発担当）	・この3か月は売上、来客数共に変化がみられないことから、現状から余り変化はしないと見込まれる。来客数が回復する要因も見当たらず、変わらないかやや悪くなるのではないかと見込む。
スーパー（支店長）	・新型コロナウイルスの影響は無視できず、外出を控えるため消費が落ち込むと見込まれるが、とにかく東京オリンピックまでは、上昇を期待したいところである。
コンビニ（エリア担当）	・自社、他社や他業種を含む競合の状況は緩和しない。
コンビニ（店長）	・外的条件は変わらないが、東京オリンピックの年であり、その影響がどのように出るか読めない状況である。景気はそこまで変わらない。
コンビニ（店員）	・お花見シーズンに入るので来客数の回復に期待したい。
コンビニ（商品開発担当）	・派遣切りに伴うマイナスの影響を受ける状況は変わらない。流れが変わるのはしばらく先と考える。
衣料品専門店（売場担当）	・2～3か月後の春季労使交渉等で、世間全般においてベースアップ等があれば一定程度の景気回復はあると見込まれるが、政府が提示する指標ほど世の中の企業は利益を計上できていない。そうすると大幅な賃金上昇はなく、消費者の財布のひもは固いままとなり、景気回復は到底見込めないと考える。
家電量販店（店員）	・東京オリンピックでテレビの販売が伸びるはずだが、下見の客も余りなく、盛り上がり欠けているように見受けられる。
乗用車販売店（経営者）	・中東情勢のガソリン価格への影響や新型コロナウイルスなど、人の動きを鈍らせる要素があるのでそれらの動向にもよるが、基本的には変わらない。
乗用車販売店（経営者）	・スタッドレスタイヤへ交換していないので、夏タイヤへの交換作業もないと見込まれる。タイヤ買換えへのタイミングも見送られる。
乗用車販売店（従業員）	・決算時期に入って、新型車や特別仕様車の発売も予定されているが、どこまで効果があるか測り兼ねる状況である。燃費の良い車への買換えは1巡したので、今、客の関心が高い安全装置の付いたサポカーが鍵になると見込む。ただし、現状では明るい材料が余り見当たらない。

乗用車販売店（従業員）	・客からは交通事故防止への関心は多く寄せられており、これから年度末の決算期を迎えるに当たり市場の盛り上がりを期待したい。しかし、消費税増税後は更に支払金額にシビアになっているように見受けられ、客の声にはなかなか厳しいものがある。
乗用車販売店（販売担当）	・ここ最近で新型車が出尽くしたため、今後、新規客が増加する見込みがない。
住関連専門店（営業担当）	・東京オリンピックを間近に控え、建築現場全体が東京のみならず他の地区でも少し落ち着いてきている。ただし、目先の小規模リフォーム工事、改修工事等についてはこれからも多くなる。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・米中貿易摩擦は一息ついたものの、新型コロナウイルス問題で景気に嫌気ムードである。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・消費税増税後に景気は落ち込んでいたが、回復したように見受けられる。全体的には更に良くなる材料がないため、この先の景気は変わらない。
高級レストラン（経営企画）	・引き続き節約傾向にある。来店動機によっては一部で単価が上昇するが、他の単価下落や来客数の減少を吸収しきれないので、利用喚起のための販促を増やして維持していく。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・オリンピックイヤーの割には、良くなるとは思えない要素が多々ある。
旅行代理店（経営者）	・東京オリンピック期間中は、客の動きは停止すると思われるので、オリンピック熱が上がれば上がるほど、旅行に対する動向は悪くなると見込む。
タクシー運転手	・長い間街中は静かである。飲み屋街の経営者に聞いても良い話は聞かず、人が少ない、暇だという愚痴ばかりで明るい話は聞かない。
タクシー運転手	・良くなる材料も悪くなる材料も見当たらない。
通信会社（企画担当）	・春の異動時期を迎え、契約は増えるものと見込まれるが、引越に伴う解約も同様に増えるので、仕事量だけ増えて、中身は現状維持となる。
通信会社（サービス担当）	・スマートフォンの操作が簡単になり、固定電話の解約が増えている。今後も解約は増えるので、通信事業としてはトントンかもしれないが、景気自体は余り変化はないと見込む。
通信会社（営業担当）	・周囲に限っては、対象客が年配層で固定回線が中心のため良くなるとは見込めない。
テーマパーク職員（総務担当）	・プラスマイナスどちらの要因も見当たらないが、新型コロナウイルスの影響が続き、外出を控える動きになることが懸念される。
設計事務所（経営者）	・2～3か月後につながる計画案件が少ない。
住宅販売会社（従業員）	・相変わらず業者不足の状況であるが、大きな変化はない。
その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度末に向けて企業の設備投資の引き合いが増えてきている。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先を考えると、1月は年初で金を使うが、3月頃は、キャッシュレス決済の使用で金を使い切って、客の購買意欲も少し下がる。また、新型コロナウイルスもあって特に外国人客が減り、その影響によって売上が今よりは減少する。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・米中の情勢、最近はやってきた新型コロナウイルスの状況等、不安定要素が多すぎるため、先行きは不安が多い。
百貨店（売場主任）	・今月は10日過ぎから少し落ち着き、初売りで購入された商品の返品が出て売上が減少した。夕方になると、来客数は多いが販売員が少ないため、客が販売員をなかなか離してくれず接客時間が長くなり、売上にもつながりにくい。
百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるものの、外出を控える動きは少しずつ出てくるのではないかと想定され、報道や状況等に一喜一憂の場面が多くなる。消費マインドには冷え込みも感じられ、売上は厳しい状況になるものと考えられる。
百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスによる景況感の一層の悪化が見込まれる。
スーパー（経営者）	・中小の小売店や飲食店は、すぐに良くなるような見通しが立たない。
スーパー（店長）	・今後肉の価格高騰は必至で、売価も必ず上げなくてはならない。
スーパー（総務）	・暖冬の影響で衣料品の売上が落ち込み、3月までの売上の期待はないと判断する。

スーパー（営業企画）	・新型コロナウイルスの終息にはまだ時間が掛かりそうで、東京オリンピック前の景況感も打ち消されそうである。
コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、物価高や経済の停滞が起きそうである。
コンビニ（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響でマスクが通常以上に売れているが、今後外出を控える傾向が出てくると、悪くなる可能性がある。
コンビニ（エリア担当）	・今は影響ないが、弁当等の主力商品の販売数が減少しているため後々に響いてくる。セール品は売れるがそれ以外の商品の動きが悪いため、景気が下がることを懸念している。
コンビニ（店長）	・先行き不透明感からか、節約モードに入っているように見受けられる。
コンビニ（商品企画担当）	・今後も暖冬傾向が続くため、飲料を中心に冬物雑貨などの低迷が続くと見込む。
コンビニ（本部管理担当）	・コンビニ業界に限らず小売業界や飲食業界は、出店に関しては飽和状態で事業拡大が難しい時代となっている。具体的なアイデアはないが、事業の方向性を変革すべきターニングポイントが到来しており、この難局を乗り越えるため先行きが不透明となり、景気に悪影響が出るのではないかと考える。
家電量販店（店員）	・人口の減少や一時的には新型コロナウイルスも、販売減少に影響を及ぼすような状況になっていく。
家電量販店（フランチャイズ経営者）	・消費税増税直後はプレミアム付商品券やキャッシュレス決済のポイント進呈等があり、ある程度の効果があったが、そのメッキも剥がれつつある。商品券も2月末で終了し、キャッシュレス決済も全ての決済にポイントが付くものではないことが認識され始めたため、6月までに駆け込みで消費する動きはないであろう。
乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が広がり、消費全体に影響することを警戒している。
乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの問題が大きく、早く終息すれば良いが、春まで広がっていくとなると、数か月後の景気は落ち込む。
乗用車販売店（従業員）	・自動車に金を掛ける風潮が感じられず、現実的な車が販売の主流であり、プレミアムな車の問合せは少なく、景気は良くなるというよりはやや悪くなる。
一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客が外出を控えないか気になっている。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる様子が見当たらない。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・消費税増税に対する抵抗感は想定より低かったものの、意外にも、米中の貿易協議や新型コロナウイルスといった出来事への不安を口にする消費者が増えている。
観光型ホテル（支配人）	・今大問題となっている新型コロナウイルスの影響で、既に来月以降インバウンドで軒並みキャンセルが相次いでいる。これは宿泊だけでなく、各企業にも影響が出てくるものと見込まれる。ただでさえ来月以降の予約状況は前年同期比で10%ほど低くなっているのので、全く先行きが見えない状況である。
都市型ホテル（従業員）	・予約数及びインフルエンザの影響で、やや悪くなると考える。
都市型ホテル（経営者）	・景気の状態が不安定である。
タクシー運転手	・今月は中国や外国人の客が多かったが、新型コロナウイルスの影響で厳しい状態が見込まれる。経済的にも観光客は減少し、企業にもいろいろな問題が起こる。不安材料である新型コロナウイルスを解決しなければ、不安が一杯である。
テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスがいつ収まるか分からないので、当分期待できない。
ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先の入場者の予約数は、前年同日比で今一つ苦戦している。段々と暖かくなるので予約数も増えるとみられるが、やや悪くなると見込む。
パチンコ店（経営者）	・業界全体で客離れが起きている。
美容室（経営者）	・当地は政令指定都市であるが、人口が減少し70万人を割ってしまっている。特に女性が減少しており、地方では過疎化が進んでいる。
住宅販売会社（従業員）	・東京オリンピックが終わるまで低調が続くそうである。

	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・日常の外飲食の機会はますます減っていく。また、飲食店閉店の相談をこの先幾つも受けている。
	×	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの問題が、日中間にとどまらず全世界的な需要の後退をもたらすと考える。
	×	衣料品専門店（経営者）	・年齢層が高い客が大半なため、来店が鈍くなる。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	・売上が減少しているなか、生産者側もかなり製品を絞っているの で、悪くなっていくと見込む。
	×	一般レストラン（経営者）	・突然起こった新型コロナウイルス問題、英国のEU離脱問題、中東紛争など世界情勢にまつわる変動が激しく、経済にも重大な影響を及ぼす。経済面でも想像もできない状況が発生するかもしれない。東京オリンピックも無事に開催されるか分からない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・景気が後退局面にあるなかで、さらに、新型コロナウイルスが広がっている。地方だけでなく旅客需要や団体旅客需要を中心とした人の移動は、ネガティブな情報が流れてくると、制約要件となる。当ホテルは中国人利用客は僅かなため直接の影響は軽微であるが、一般的に海外旅行、国内旅行の手控えが考えられ、景気は悪くなる。
	×	都市型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスや米中貿易の影響で、宿泊、宴会共に悪化が拡大すると見込まれる。その上株価の影響で個人客にも波及してくると、ホテル業界全体に影響する状況も考えられる。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの収束状況次第である。今の状態では、ホテル業には大打撃となる。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大で底が見えない状況になっている。メディアなどのあおりも影響大である。
	×	旅行代理店（経営者）	・通常なら年度末で様々な購買、旅行需要が起きる時期であるが、新型コロナウイルスの行方が当分分からないことや、航空会社の中国便中止や減便が今後どのくらい影響するのか予断を許さない。中国市場に大きく依存する自動車関連産業の多い当地においては、国産旅客機の6度目の納入延期など、立て続けに大きな影響を受けている。
	×	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が深刻化する兆しがある。ここ1週間で、アジア旅行の取消しから始まりバスの日帰り旅行までキャンセルを検討する団体が発生している。感染者としてバス乗務員というワードが先行しており、乗り物全体に飛び火するのは時間の問題である。
	×	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスが指定感染症に認定され、メディアでも連日大きく報道されており風評被害は拡大の一途である。海外旅行はここ数日中止が相次ぎ、国内旅行でも取消しが発生している。今後の旅行申込みも、ワクチンが発見され処方されるまでは落ち着きを取り戻せないと見込む。4月頃までは下降する一方と考える。
	×	理美容室（経営者）	・これからもっと景気が悪くなるのではないかと見込まれる。
	×	理容室（経営者）	・景気の良い話は聞かない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・この先不動産業界全体が良くなる様子が見当たらない。悪くなる状況がまだ続く。
	×	住宅販売会社（従業員）	・地方には関係のない東京オリンピック関連の工事が終わると、建築業界が冷え込むという迷信的な風評で、住宅への投資が更に減るように見込まれる。
企業 動向 関連 (東海)		-	-
		電気機械器具製造業（経営者）	・3月に年度末決算を迎える客が多いことと、ゴールデンウィーク前の駆け込み需要がある程度期待できるため、少しは景気が良くなる。
		建設業（営業担当）	・12月と同様、3月末決算で予算的にどの企業や自治体でも発生する作業等の発注が、例年どおりに実行されることがある程度明確になっている。
		輸送業（エリア担当）	・日米貿易が好転することを期待する。
		通信業（総務担当）	・直近は、決算期で各企業とも数字作りには奔走するだろうし、年度が替わると東京オリンピック開催が間近に感じられて皆の気持ちが上に向く。実際にいろいろ買いそろえて消費が増えると思込む。
		不動産業（経営者）	・今後は例年同様に晴天の日が多くなるとの予報もあり、当面の売上は良い状態となり前年同期100%以上で推移するとみている。
		行政書士	・東京オリンピックを前にして、貨物の動きが良くなる。

その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・景気の波は長く続いているが、早ければゴールデンウィーク明けには下降の局面となってくる。そのために自社としては新製品の開発を急ぐ必要がある。
パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・足元の景気も良いとはいえないが、今後良くなる情報もないため2～3か月先も景気は変わらない。
化学工業（営業担当）	・数か月前までは、5Gに関わる半導体向け需要が良くなる見込みであったが、実際は遅くなる見込みである。
金属製品製造業（従業員）	・能力を超えるほどの忙しい状況が続くと見込むが、東京オリンピック需要の反動が急に出るとの見方と、それほどでもないという見方が交錯している。
一般機械器具製造業（営業担当）	・北米向け自動車用設備投資は、引き合い数は増えてきたがまだ需要が回復しているとはいえず、なかなか受注には結び付かない。また、新型コロナウイルス騒動で中国の多くの企業が操業を停止しており、どのような影響があるか不透明である。
一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量は現状での推移が見込まれる。
電気機械器具製造業（営業担当）	・良くなる要素が見当たらない。
電気機械器具製造業（経営者）	・年度末を迎えるに当たり、新規案件の相談や発注等が全くない状態にある。
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・ドルと円の相場は安定しており、今のまま推移するのではないかと見込むが、新型コロナウイルスの影響で購買意欲が下がり、中国向け輸出が少し減少するのではないかと懸念する。
輸送用機械器具製造業（管理担当）	・急激な賃上げは期待できず、企業の利益も不振が続く。
建設業（役員）	・大手自動車メーカー系企業のマインドは、中国情勢を踏まえて下がっている。来場者数も少ない。
輸送業（従業員）	・この半年間は、荷量が減ってから横ばい状態が続いている。
通信業（法人営業担当）	・景気対策の特効薬は、いかに消費マインドがアップするかに懸かっている。
金融業（企画担当）	・個人投資家の心理は明るくなっているが、含み益を実現させるほどではなく、また、個人投資家以外の個人は給与が上がっている実感がないことから、大きく消費に向かっているとはいえない。
広告代理店（制作担当）	・年度末から新年度に向けての新規案件等は、企業側の予算等の関係でなかなか具体的に決まっていこない。
会計事務所（職員）	・変化をもたらす要因が見当たらない。現状維持でいくのではないかと見込む。
会計事務所（職員）	・売上の減少に伴いボーナスをカットするなど、人件費を削減する企業もみられ、可処分所得の減少した消費者の節約志向は、まだまだ続くと思込まれる。
食料品製造業（経営企画担当）	・消費マインドは低調で、今後は新型コロナウイルスの広がりも懸念され、先行きは極めて不芳と思込まれる。
化学工業（総務秘書）	・東京オリンピックまでは景気の下降はないものとみていたが、新型コロナウイルスで中国の経済活動への影響が長引けば、景気が減退することは避けられない。
窯業・土石製品製造業（社員）	・粘土類の品質が落ちていることに加えて、3月頃には更なる値上げの情報が入っているが、製品価格に転嫁することは困難で利益が圧迫される。
鉄鋼業（経営者）	・直近の見積りなども低調で、特に自動車業界の設備投資がこの下期は止まっているので、今年度は回復の見込みも立たない。
金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、大きな調整局面に入っていると考えている。
電気機械器具製造業（企画担当）	・中国での新型コロナウイルスの影響が拡大すると、中国国内のみならず生産と消費の両面で景気にブレーキが掛かるおそれがある。
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・今のところ好転する材料がない。
輸送業（経営者）	・生活必需品に変化がないとしても、機械部品などの物量の低迷や人手不足は改善しない。新型コロナウイルスによる国内外の生産活動への影響が懸念される。
通信業（法人営業担当）	・仕事をやる人、1人1人のモチベーションが、環境不安で下がっている。

	金融業（従業員）	・今まで景気が良い状況にあったため、今後は悪くなる予想をする人が多い。東京オリンピックに向けていろいろな業種が盛り上げて、景気が良くなってきたが、ここに来てその勢いが止まった印象を受ける。
	不動産業（経営者）	・取引案件は幾らかあるものの、利回りが低い物件が多くみられる。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞購読者と折込広告が減少している。
	公認会計士	・中小企業の業績悪化と経営意欲の低下への即効的な施策が見当たらない。東京オリンピック後を見据えた、慎重な企業行動が増加すると考えられる。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・大型案件の候補が見当たらない。外部調達要員のリリースが始まりそうな雰囲気である。
	× 食料品製造業（営業担当）	・受注量が減少傾向にある。回復の要因がない。
	× 電気機械器具製造業（総務担当）	・中国に生産工場を持つので、新型コロナウイルスへの対応がどうなるか非常に気になる。操業の停止期間や部品供給の動向によっては、今後の業績に大きな影響が出ると予測する。
	× 輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスによる観光客の減少や暖冬に伴う売上の減少、人件費や外注費を含む間接コストの削減などが、ますます家計を圧迫する可能性がある。一部の企業では業績好調となるが、全体的には縮小傾向にある。東京オリンピックに伴う建設パブルも一段落し、これといった景気を引き上げるイベントや事業が期待できない。
	× 輸送業（エリア担当）	・これから東京オリンピックに向けて世論的には盛り上がりつつある時期であるが、訪日外国人旅行者も含めて飲食店、観光施設やレジャー関係が盛り上がるだけで、基幹産業である製造業等は盛り上がりがない。限られた産業だけの景気回復だけで日本全体が盛り上がるものではなく、景気は今のままである。
雇用 関連 (東海)	-	-
	民間職業紹介機関（営業担当）	・2～3月は転職市況が活発になる時期でもあり、4月の入社に向けて決定者数が伸びると見込む。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・2月末に行われる学内就職説明会への参加希望企業数は前年以上であり、前年以上の採用意欲を感じる。
	人材派遣会社（企画統括）	・年度内は大きく変わる材料が見当たらず、4月以降の派遣の活用動向が不透明である。
	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックを前に経済が停滞しているムードの中で、前向きな材料が見当たらない。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・求人募集においては、メーカー及び1次、2次下請によって募集継続中のところもあれば、募集停止のところもある。今後の生産体制に応じて変動が見込まれる。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・企業の採用数の動向には変化がない。
	職業安定所（所長）	・企業からは人手不足の声を聞く一方で、事業主都合の離職者が少し増加傾向となっている。
	職業安定所（職員）	・12月は前月と比較して、いわゆる就職氷河期世代を含む全ての年代で求職者が減少している。例年、年末は求職者が減少する傾向にあるが、1月以降も大きな動きがあるようには見受けられない。
	職業安定所（次長）	・企業の採用意欲は高いが、求職者は減少しておりマッチングが進んでいない。また、中小零細企業からは、先の見通しが不透明で不安を感じているとの声を聞く。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・現状も求人数は多いが、ここから更に多くなる時期に向かっていく。ただし、派遣の形態での就労希望者のスキル・年齢には偏りがあり、マッチングが難しいケースが多い。雇用形態を重視する若年層が多い。
	人材派遣会社（経営企画）	・新型コロナウイルスの経済活動への影響を懸念する。
	人材派遣会社（社員）	・今月が良すぎたのでやや悪くなる。予約状況も例年を下回っている。
	人材派遣会社（営業担当）	・主要客である自動車メーカーからは、12月時点の情報よりは削減幅が少なくなったが、4月から予算5%削減を通告されており、今よりも景気は悪くなっていく。
人材派遣会社（営業担当）	・同一労働同一賃金に向け、各社が人件費を抑制するため、採用に対して慎重な傾向が強まっている。	

	職業安定所（次長）	・求人数は減少傾向が続いている。好転するような要因が見当たらない。
	職業安定所（次長）	・求人・求職状況において改善が見込める要因及び根拠がない。
	民間職業紹介機関（支社長）	・大手メーカーの中途採用人数は減少してきている。
×	人材派遣業（営業担当）	・東京オリンピック前で活気付くはずだが、新型コロナウイルスによる訪日外国人の減少により、景気は悪化すると想定される。
×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・米中貿易摩擦は好転する兆しがなく、新型コロナウイルスの影響もこれから深刻化すると見込む。